

安全で快適な暮らしのために ～専門職が担う土木のしごと～

土木職員は、採用後、道路・河川・港湾・都市計画・上下水道など、県民の暮らしを支える幅広い分野の仕事に携わります。専門外の分野はわからない!という方も、研修で知識を学び、先輩職員の助けを得ることで、スムーズに仕事が進められます。ここでは主な業務となる、企画、調査・設計、工事、維持管理の具体的な内容を紹介します。



千葉を支える専門職



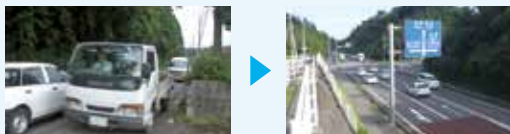
土木

1 企画

問題や課題への対策を検討し、計画を立案します。民間企業と異なり、自ら計画を作れるのは、県職員の仕事の大きな魅力と言えます。

仕事の進め方

- 調査を行い原因を特定(「周辺開発で交通量急増」「特定地域に向かう車が多い」等)
- 解決策を検討し方針決定(「渋滞を回避するバイパス整備」「道路を拡幅し車線数増加」等の解決策を複数立案し、費用対効果や周辺環境への影響等、様々な観点で検討)



整備前(旧道) バイパス整備後
県道山田台大綱白里線(大綱白里市)

2 調査・設計

工事を行う前に、測量等の現地調査を行い、調査結果をもとに設計図面を作成します。

仕事の進め方

- 現地調査を測量会社に発注し、測量図と実際の現場との整合性を確認
- 設計業務をコンサルタント会社に発注し、設計図面に計画内容がもれなく反映されているかを確認
※職員自ら調査・設計を行うこともあります。
- 工事予定箇所付近の近隣住民への説明、地元市役所等の関係機関との打合せ



測量の様子

3 工事

(積算・現場監理)

設計図面をもとに、工事の発注に必要な工事費を算出します。建設会社に工事を発注した後は、実際の現場を定期的に確認し、指導や調整を行います。

仕事の進め方

- 設計図面に基づき、工事に必要な材料の数や費用を専用のシステムで計上
- 定期的に現場を確認し、工事の進捗を監視
- 工事完了後、設計図面どおりに工事が行われたかを確認



銚子連絡道路 国道296号八千代バイパス

4 維持管理

完成した土木施設の機能を維持するため、道路なら路面状況等を定期的に確認し、異常が見つかった場合は補修を行います。特に修繕費が高額となる橋やトンネルなどは、小さな不具合のうちに補修するようにしています。なお、近年はドローン等の活用も行っていきます。



新技術 ロボットカメラ



ドローン点検

Q4 上司・同僚に相談しやすい環境だと思いませんか。

Q5 職場環境や人間関係は良好だと思いませんか。

89%
「そう思う」
「まあそう思う」

職場の雰囲気は?

上司や同僚が親身になって相談に乗ってくれる。

毎日忙しいが、明るく活気がある。

困っていると、声をかけていただけてくれるので、自分からも相談しやすい。

皆で協力して業務を行っている。

Q6 休暇を取りやすい職場環境だと思いませんか。

87%
「そう思う」
「まあそう思う」

取りやすいと思う理由は?

急ぎの仕事がない限りは、希望の日に休暇が取れる。

先輩職員が率先して休暇を取得しているので、あまり抵抗なく取得できている。

フォローしてくれる体制が整っているので休暇が取りやすい。

上司が声掛けなどで、積極的に休暇を取りやすい雰囲気づくりをしてくれている。

Q7 県職員になってイメージと違っていただけはありますか。

マニュアルどおりの仕事は思っていたより少なく、自ら考え説明する機会が多い。

コロナ禍の社会情勢もあるが、従来の方向性を急遽見直し、臨機応変に対応しなければならない場面が多くあり、柔軟性がとても求められる毎日だと感じる。

職場が少し固い雰囲気かと思っていたが、実際は明るく、良い印象が変わった。

Q8 千葉県は好きですか。

94%
「そう思う」
「まあそう思う」

皆さんも、千葉県が好きな先輩職員と一緒に働きませんか?



アンケートの詳細はこちら

